

建通新聞

令和6年12月24日（火曜日）

足立議員

強靱化中期計画 「必要額の確保を」



23日の参院災害対策特別委員会で、自民党の足立敏之参院議員が「写真」が質問に立ち、国土強靱化（きょうじん）実施中期計画に盛り込む事業費について「必要な額の確保をしっかりとできるようお願いしたい」と政府

に注文した。

坂井学強靱化担当相は、強靱化実施中期計画の策定に向けて、まずは現行の5か年加速化対策の評価を進めると説明。その上で、「これまでに以上に必要な事業を着実に進められるよう、最大限加速化して計画を策定していきたい」と述べた。

足立議員は能登半島地震で道路網が寸断される被害が発生したことを受け、半島地域のような条件不利地域では「あらかじめ信頼性の高い道路ネ

ットワークの整備が必要だ」と指摘。国交省の本巧道路局長は「地域の状況に応じてしっかりと進める」と答えた。

足立議員は、能登半島地震の教訓を踏まえた上下水道の地震対策についても質問。松原誠上下水道審議官は「上下水道システムの急所と、重要施設への接続管路の一体的な耐震化が重要になる」と説明した。全国の地方自治体に策定を求めている上下水道耐震化計画に基づき取り組みについて、補正予算を活用して支援するとした。